

2005年7月5日

## 「環境・社会報告書 2005」発行

住友林業株式会社（社長：矢野 龍 本社：東京都千代田区丸の内1丁目8番1号）は、環境への取り組みとその具体的な成果をまとめた「環境・社会報告書 2005」を発行いたしました。

2001年より発行してきた「環境報告書」を、昨年「環境・社会報告書」と改称し、環境・社会に対する企業の責任をより意識し、持続可能な社会をめざして取り組んでいる当社の活動を報告しています。今年は、さらにCSRの視点を加え、社会性報告と環境性報告のパートを分けて内容を充実させるなど、より読みやすく、わかりやすくする工夫をしました。また、昨年に続き報告書の用紙に「間伐材印刷用紙」を採用しています。これは、間伐材利用促進の一環として開発され、再生古紙90%に間伐材パルプ10%を混ぜたもので間伐材マークの認定を受けています。

### <環境・社会報告書2005概要>

- ・報告書対象期間 : 2004年4月～2005年3月
- ・報告対象 : 住友林業株式会社（一部グループ会社の活動も報告）
- ・主な内容

#### 1. トップ対談

（株）ユニバーサルデザイン研究所の 赤池 学 所長をお招きし、当社社長とサステナビリティをテーマに語り合っていました。

#### 2. 社会性報告

企業の社会的責任を推進しようという気運が社会全体に広がってきた中、当社では2005年4月にCSR推進室を設置、住友林業グループ全体としてCSRへ取り組んでいく体制づくりを始めています。事業のあらゆる局面に「サステナブル」の思想を織り込み、企業活動が社会・環境と共に発展継続できる取り組みを積極化していきたいと考えます。

##### (1) お客様とともに

お客様ニーズに迅速に対応する企業として、a.お客様センターとコールセンターの設置、b.60年ロングサポートシステムの実施が評価され、2004年度「消費者指向優良企業に対する経済産業大臣表彰」（消費者相談分野）を受賞しました。

##### (2) 取引先とともに

「グリーン調達ガイドライン」を設定し、環境配慮された原材料・資材を調達しています。また、施工に携わる工務店と共同で、建築現場における労働災害削減に向けた取り組みを行っています。

##### (3) 株主とともに

（社）日本証券アナリスト協会の行う2004年度の「リサーチ・アナリストによるディスクロージャー優良企業選定」において、「建設・住宅・不動産」部門の「ディスクロージャーの改善が著しい企業」に選ばれました。社会的責任投資（SRI）が注目を集める中、当社は、各種SRIインデックスに組み入れられるなど企業姿勢が高く評価されています。

##### (4) 社員とともに

「従業員満足度調査」を実施し、社員一人ひとりが主体性を持ちいきいきと働ける制度づくりに取り組んでいます。公平でチャレンジできる人事制度、働きやすい職場環境づくり、性別にかかわらず意欲と能力のある人財活用を図る「ポジティブアクション」などを推進しています。

##### (5) 社会とともに

森林事業で培った知識と経験を活かし、社会に貢献する活動を実施しています。愛媛県別子山に建設した

「フォレスターハウス」を2005年3月にリニューアルし、自然観察、環境教育の場として情報を発信し、「持続可能な森づくり」を見て学べる施設として公開しています。

### 3. 環境報告

住友林業は、唯一再生可能な資源である木材を、無駄なく利用し長く使うこと、リサイクル・リユースを進め最大限に活用することを通して、サステナブルな社会の実現に貢献します。また、自らの事業活動で排出するCO<sub>2</sub>を減らすとともに、お客様のライフスタイルや社会の要請に合った環境配慮型住宅の提供に取り組みます。

#### (1) 事業活動とCO<sub>2</sub>収支

当社が日本国内に所有する社有林の総面積は40,497haで、この社有林が吸収するCO<sub>2</sub>の量は2004年度は231,605t-CO<sub>2</sub>に達しています。これは、住友林業グループが国内事業活動にともなって排出するCO<sub>2</sub>量の約2.5倍に相当します。

#### (2) 木材資源の有効活用（国産材利用）

国産の杉材を格子状に組んだ「ぎづれパネル」、ヒノキの集成材「スーパーサイプレス」等を住宅部材として積極的に活用し国産材の有効活用に取り組んでいます。国産材の利用により、国内の人工林に管理の手が入り、木々が活性化しCO<sub>2</sub>の吸収の促進につながります。

#### (3) 居住者のための環境配慮（ビッグフレーム構法による長寿命住宅を開発）

国内で初めて、通し柱を必要としない木質梁勝ちラーメン構造「ビッグフレーム構法」を開発し、国土交通大臣の認定を受けました。設計の自由度が高く、スケルトンインフィルの発想でライフスタイルの変化にあわせた間取り変更にも柔軟に対応もでき、2世代、3世代にわたって住み続けられる良質な住まいを提供します。

以上

<お問い合わせ先>

住友林業株式会社

コーポレート・コミュニケーション室 佐野・佐藤

TEL：03-3214-2270